

都市再生整備計画 事後評価シート

ほりきりちく
堀切地区

平成31年2月

とうきょうとかつしかく
東京都葛飾区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	葛飾区		地区名	堀切地区			面積	105ha		
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期	平成30年度		交付対象事業費	175.3	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 公園(堀切菖蒲園)、地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(道路修景)										
		提案事業	鉄道高架下利用計画調査検討委託、事後評価調査										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし	事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	駅周辺環境改善に関する社会実験事業				地域住民の取組方針や実施スケジュールの整合を図るため延期。(交付期間終了後、平成31年度以降に関連事業として実施予定)		まちの賑わい感、堀切菖蒲園来園者数に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	まちの賑わい感	%	20.8%	H25	25.3%	H30		25.5%	○	あり なし	堀切菖蒲園のリニューアルと住民の主体的なイベント開催がまちの賑わいの向上につながった。	平成31年6月頃
	指標2	ユニバーサルデザイン感	%	13.9%	H25	19.8%	H30		4.3%	×	あり なし	昨年までの数値や全区の平均値と比べて大きな乖離があるため、再評価が必要。地区内の障害者福祉施設(ウエルピアかつしか)利用者の意見を聞くなど多様な区民の事業評価やニーズ把握にも努める。	平成31年6月頃
指標3	堀切菖蒲園来園者数	人	82,493	H25	91,000	H30		77,019	△	あり なし	菖蒲まつり期間中、例年と比べて、悪天候に見舞われたことや、花菖蒲の見頃の時期が早まったことから、来園者数が激減した。	平成31年6月頃	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	まちの魅力感	点					6.7					当事業と並行して実施された、地域住民の主体的なまちづくり活動が魅力向上につながった。	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 堀切菖蒲園のリニューアルによって、ボランティアガイドの育成や各種イベントの開催など地域住民による自主的なまちづくり活動の展開につながった。 堀切地区まちづくり推進協議会が、堀切菖蒲園駅周辺を住みやすく魅力的なところを目指すことを目指して「堀切地区まちづくり戦略(案)」を作成・提案し、地域の有志とともに具体的な取り組みを開始した。 まちづくり戦略案の作成など地域の活動を踏まえ、堀切菖蒲園のリニューアルを契機に、区と地域住民が協働して、賑わいのある道づくりに向けた検討を開始した。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	堀切地区まちづくり推進協議会との協働・連携 堀切菖蒲園整備に向けた住民説明会の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくり推進協議会を中心に、より多くの住民の参加と協力が得られるよう、引き続き協議会活動への支援を継続する。						
	持続的なまちづくり体制の構築	堀切地区まちづくり推進協議会との協働・連携 堀切菖蒲園花菖蒲ボランティアガイドの育成	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 住民の主体性を強化し、将来的には自主的な活動ができるように支援していく。						

様式2-2 地区の概要

堀切地区(東京都葛飾区) 都市再生整備計画事業の成果概要					
平成31年2月	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標 地域の自然と下町風情の魅力を活かした活気と賑わいの創出 小目標① 地域の魅力スポット・イベントの育成 小目標② 地域の魅力をつなぐまちの回遊性の創出 小目標③ 地域の玄関口となる駅前の顔づくり	まちの賑わい感	単位:%	20.8 H25	25.3 H30	25.5 H30
	ユニバーサルデザイン感	単位:%	13.9 H25	19.8 H30	4.3 H30
	堀切菖蒲園来園者数	単位:人	82,493 H25	91,000 H30	77,019 H30

堀切菖蒲園

○関連事業 密集事業・主要生活道路
 ○関連事業 密集事業・共同建替事業
 ○関連事業 (京成本線荒川橋梁架管事業)
 ■基幹事業(高質空間形成施設) 道路修景事業
 ■基幹事業(地域生活基盤施設) 情報板の再構築事業
 ○関連事業 駅周辺環境改善に関する社会実験事業
 ■提案事業(地域創造支援事業) 鉄道高架下利用計画調査検討委託
 ■提案事業(事業活用調査) 事後評価調査
 ■基幹事業(公園事業) 堀切菖蒲園(施設整備)

凡例
 ■ 基幹事業
 ■ 提案事業
 ○ 関連事業

道路修景

公共サイン

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・菖蒲まつり期間中は賑わうが、それが過ぎると来園者数は減る傾向にあるので、新たな魅力スポットの発掘が必要とされる。 ・ユニバーサルデザイン感(指標2)の大きな下落を受けて、再評価を行うとともに、地区内の障害者福祉施設(ウェルビアかつしか)利用者の意見も聞くなど、多様な区民の事業評価やニーズ把握にも努め、その結果を今後のまちづくりの方策に反映させていく必要がある。 ・地区全体の観光や地区の魅力をPRするための取り組みとして、菖蒲園と商店街の連携や、菖蒲園に関する観光品販売といった新たな観光資源の検討が求められている。 ・今後のまちづくりを中心に担っていくことが期待される堀切地区まちづくり推進協議会の自立に向けた支援継続と、自発的な取り組みに関する協働・連携の必要性が高まっている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント時の賑わいづくりは概ね達成されたので、今後は日常的な活気・賑わいづくりが課題となる。堀切地区まちづくり推進協議会を中心に地域が一体となって魅力アップに努め、区はそれを支援する。 ・公共サインは、今後も引き続き、区民の声を聞きながら、問題点や改善点があれば適宜は反映させるなど、利用者にとって使いやすい整備を進める。 ・まち全体の賑わいの創出や回遊性の向上に向けて、堀切地区まちづくり戦略(案)をもとに、協議会が主体となって取り組み、区はそれを支援する。 ・商店街や魅力スポットのアクセス性や回遊性の向上に向けて、道路修景整備など区と地域住民が協働して賑わいのある道づくりに向けた検討を進める。 ・駅周辺の環境整備に向けて、堀切地区まちづくり戦略(案)をもとに、区と協議会が協働して駅周辺のまちづくりに取り組む。 ・まち全体が全ての人にとって快適に利用できるよう、地区内の障害者福祉施設(ウェルビアかつしか)利用者の意見も聞くなど、多様な区民の声を聞きながら、ソフトとハードの両面から継続して検証を行う。